
親愛なる人へ贈る

なめちゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

親愛なる人へ贈る

【Nコード】

N9362P

【作者名】

なめちゃん

【あらすじ】

あなたがいつか、これを読んでくれることを願っています。

（前書き）

文学初心者くだらない落書きですが、より多くの方々の目に留
まると嬉しいです（笑）

あなたに出会えてよかった。

あなたは誇らしげに言った、

「これは、世界で一番？人間らしい？スポーツなんだよ」

この言葉をもらって、私は失いかけていた誇りを取り戻した。

空に近い場所で、あなたは言った、

「速いね。がんばれば、きっと強くなる」

この言葉に導かれて、私は初めて夢を見つけた。

またある日、あなたはすがすがしい顔で言った、

「どんなに軽いギアでも、回し続ければいつかはゴールに着くから」

この言葉のおかげで、私は走り続ける理由に気づけた。

.....

「さあ、きょうはどこに行くのかな」

私は工具を置くと、ひとつ伸びをして、それから自転車にまたがる。

腕時計の針をちらっと見て、私はペダルの回転を上げる。

あなたと……そして、大好きなみんなと走れる時間は、あと少し。

その限られた時間の中で、この列車はどこまで走れるのだろうか？
トレイン

カレンダーをちらっと見て、私は願う。

あなたに勝ちたい

熱く焼けたアスファルトの上で、汗と涎ヨダレを垂れ流しながら、

『世界で一番？人間らしい？スポーツ』で、あなたよりも速くゴールしたい。

私の誇りをかけて、夢を目指して、どうしようもない理由に衝き動かされて、

あなたよりも速く、

誰よりも速く、

私は、この道の彼方に走っていく

.....

あなたに会えてよかった。

私が生まれて初めて「勝ちたい」と思ったのは、あなたに会えたおかげだから。

あなたに会えてよかった。

いつか訪れるさよならの時、きっと私は言葉にできないだろうか

ら、

この言葉を今ここで、いつかあなたに伝えることを祈って、

「
ありがとう」

大好きです。

いつかまた、この道のどこかで……

（後書き）

これが、あなたに読まれることを祈っています。

……まあ、恥ずかしいので読んでも黙っててくださいね、先輩。

これからよろしくお願いします>（――）<

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9362p/>

親愛なる人へ贈る

2011年1月8日21時43分発行